

江田島市江南地区の賑わい創出に係る調査			
調査主体	江田島市		
対象地域	広島県江田島市	対象となる 基盤整備分野	道路改良整備

1. 調査の背景と目的

江田島市では、大規模小売店等の商業サービス施設が集積している江南・飛渡瀬地区を本市のセンターゾーンとして位置づけており、商業・業務施設の立地誘導、新たな拠点公共施設の配置等により都市機能の強化を進めることとしている。

また、近年のサイクリングブームの中で、江田島市へのサイクリング客は増加傾向にあるが、第1術科学校への来訪客の市内周遊が乏しいこと等の問題点を抱えている。

また、本地区には第1術科学校とともに本市の観光拠点になっている海辺の新鮮市場があるが、駐車場施設及び運営上の問題点を抱えている。

一方、本地区の円滑な交通処理を行うために、主要地方道江田島大柿線の交差点改良が計画されており、こうした整備を本地区の都市機能強化の契機とすることが求められている。

こうした点を踏まえて、本調査は、主要地方道江田島大柿線の交差点改良を活用し、官民が連携して海辺の新鮮市場一帯の観光拠点としての機能強化を検討するもので、江南・飛渡瀬地区における賑わい創出と都市機能強化に資するものである。

2. 調査内容

(1) 江田島市の観光動向の整理

江田島市内の観光施設の分布、市内への来訪客数、来訪客の市内周遊の動向等を整理し、江田島市への来訪者の特性を把握する。

(2) 海辺の新鮮市場の運営状況の整理

海辺の新鮮市場一帯の土地利用や海辺の新鮮市場の施設概要、運営状況等を整理し、海辺の新鮮市場一帯の整備構想を検討する上での参考とする。

(3) 海辺の新鮮市場一帯の整備に係るヒアリング

海辺の新鮮市場一帯の整備に係る関係課や観光協会、観光施設、農業協同組合、漁業協働組合、商工会等の関係団体に対するヒアリングを行い、海辺の新鮮市場一帯の整備構想を検討する上での参考とする。

(4) 計画条件の整理

江南・飛渡瀬地区について、江田島市総合計画や江田島市都市計画マスタープラン等の上位計画・関連計画を踏まえて位置づけ、役割を整理するとともに、主要地方道江田島大柿線の道路改良計画等の本地区に関わる個別計画を整理し、海辺の新鮮市場一帯の整備を検討する上での参考とする。

(5) 海辺の新鮮市場一帯の整備方針の検討

江田島市の観光動向，海辺の新鮮市場の運営状況，海辺の新鮮市場一帯の整備に係るヒアリング結果，計画条件の整理を踏まえて，海辺の新鮮市場一帯の整備に係る課題を把握するとともに位置づけ及び役割を検討する。その上で，海辺の新鮮市場一帯の整備目標と整備方針，段階的な整備の考え方，ケース別の整備構想を検討した上で，ケース別の概算事業費の試算を行う。

(6) 今後の取組の検討

海辺の新鮮市場一帯の整備の具体化に向けて，関係団体との連携，事業スケジュール，事業実施上の課題等を整理する。

(2) 調査結果

- ゆめタウン江田島店から海辺の新鮮市場一帯を都市拠点ゾーンとして一体的に整備。
- 海辺の新鮮市場と J A 呉施設駐車場を歩道橋で連絡し，江田島の様々な幸を提供するとともに，観光情報の受発信，江田島の食の提供を含めた来訪客，市民が交流する賑わい拠点の形成を図る。

(ア) 海辺の新鮮市場

- ・ 1 階店舗の改装（売場環境の改善，水産物に特化した販売スペース）
- ・ 2 階食堂の改装（内装のリニューアル）
- ・ 食数の拡大（炊飯器増設）と平日における団体客の受け入れによる売上の増大

(イ) 海辺の新鮮市場周辺

- ・ 交差点改良に伴う残地を花の広場として整備
（花の塔，親水護岸，オリーブの木の植栽，東屋，ベンチ等の整備）
- ・ (主)江田島大柿線及びゆめタウン江田島店前間の植栽整備
- ・ 大新開ポンプ場及び排水池一帯の修景（護岸の植栽，雑草等の除去）
- ・ 大規模小売店及び商業サービスゾーンの店舗の敷地内緑化の働きかけ
- ・ 南北の連絡の確保（海辺の新鮮市場と J A 呉江能選果場駐車場を連絡する歩道橋の整備）
- ・ 江田島幸の市場（仮称）に至る案内標識の整備

(ウ) 江田島幸の市場（仮称）の整備

J A 呉施設駐車場を活用して，江田島市の野菜，花，柑橘等の農産物，加工品を販売する仮設市場を開設するとともに，冬場はカキ小屋を開設する等により，海辺の新鮮市場と連携して江田島の幸を提供する。

- ・ 海辺の新鮮市場の駐車場として借用（一般駐車場及びバス駐車場）
- ・ 農産物及び加工品販売ブース（仮設テント）の設置（土日・祝日の運営）
- ・ 芝生広場へ仮設の軽飲食カフェの設置（デリバリーカー等）
- ・ 冬場は殻付カキ等の魚介類のバーベキューが楽しめるカキ小屋の設置
- ・ 賑わいを創出するために，多様なイベントが開催できる野外ステージの設置

(エ) 江田島幸の駅（仮称）の整備

J A 呉江能選果場をリニューアルして、江田島の多様な農産物、食を常時提供する施設を整備し、江田島幸の市場（仮称）と連携して、来訪客及び市民の賑わい交流拠点を形成を図る。

< J A 直営施設 >

- ・農産物直売所，農家レストラン，苗の販売（柑橘ジュース，ジェラートの販売等）
- ・農産物加工体験（イチジク，ブルーベリー，オリーブ）
- ・営農指導（花，野菜の栽培指導，住宅におけるガーデニング指導）

< その他 >

- ・観光情報の受発信拠点づくり
（観光協会事務局の設置：情報の受発信，観光案内，ツアー企画・募集等）
- ・各種土産物店，飲食店の出店

(オ) 海の活用

- ・カブトガニ等の環境学習
- ・観光潮干狩り場所の整備

(カ) 都市拠点ゾーンにふさわしい空間づくり

- ・海辺の新鮮市場からゆめタウン江田島店に至る一体的なゾーン形成
- ・ゆめタウン江田島店の敷地内緑化
- ・生コン工場，プロパンガス置場の移設と商業サービス店舗の立地誘導
- ・公共下水道の整備に伴う排水池の水質浄化

3. 基盤整備による効果

本地区の円滑な交通処理を行うために、主要地方道江田島大柿線の交差点改良が計画されており、こうした整備を本地区の都市機能強化の契機とすることが求められている。

こうした点を踏まえて、本調査は、主要地方道江田島大柿線の交差点改良を活用し、官民が連携して海辺の新鮮市場一帯の観光拠点としての機能強化を検討するもので、江南・飛渡瀬地区における賑わい創出と都市機能強化に資する効果が期待できる。

4. 今後の課題

(1) 庁舎内協議体制の確立

江南・飛渡瀬地区の活性化，海辺の新鮮市場一帯の整備に向けて企画振興課，商工観光課，農林水産課，都市整備課，建設課等で構成する協議組織を設立し，平成23年度の成果を踏まえて協議・調整を行い，今後取組を明確化する。

(2) 関係団体との連携

海辺の新鮮市場一帯の整備及び運営への参加が想定される江田島市商工会，江田島市内の漁業協同組合，J A 呉，江田島市観光協会等の団体で組織する「海辺の新鮮市場一帯の整備・運営等協議会（仮称）」を設置し，整備内容や運営への参加について協

議する。

また、本計画が J A 呉の用地を活用した計画であるため、J A の本計画の関わり方について十分に協議・調整しながら進める。特に、江田島幸の駅（仮称）の整備については、J A 呉江能選果場の移転が前提となるため、J A 呉の動向を踏まえながら検討する。

（3）担い手の確保，育成

江田島幸の市場（仮称）の整備が明確になった段階で、仮設市場の運営へ参加する農家等の募集を行うとともに、参加農家等に対する経営指導等の支援を行う。

また、江田島幸の駅（仮称）の整備が明確になった段階で、江田島市観光協会の移転の働きかけや整備施設へ出店希望の店舗を募集する。